

議案第23号平成24年度武蔵野市一般会計予算に関する付帯決議

上記の議案を提出する。

平成24年3月27日

提出者

21番 与座 武

12番 内山 さとこ

3番 田辺 あき子

5番 落合 勝利

8番 木崎 剛

9番 島崎 義司

13番 川名 ゆうじ

14番 深田 貴美子

19番 斉藤 シンイチ

23番 桑津 昇太郎

26番 本間 まさよ

武蔵野市議会議長 きくち 太郎 殿

議案第 23 号平成 24 年度武蔵野市一般会計予算に関する付帯決議

平成 24 年度予算特別委員会審査において、私立小・中学校等保護者補助金の廃止等について、市民への説明・周知、また議会との合意形成が不十分であることが明らかになった。

国及び自治体の厳しい財政状況、先行き不透明な経済情勢の中、本市においても政策実現に向かう人的物的資源が減少していることは事実である。こうした視点から、市民福祉の向上のためには、執行機関である行政と市民代表である議会とが、予算編成過程における意思疎通・情報共有を深め、合意形成を図る仕組みが必要である。

施策・事業の改廃に当たっては、今後、当事者である市民に対して十分な周知期間を設けるとともに、激変緩和策を講じるよう努められたい。

以上、決議する。

平成 24 年 3 月 27 日

武 蔵 野 市 議 会